

地方独立行政法人

西都児湯医療センター



地方独立行政法人西都児湯医療センター

〒881-0033 宮崎県西都市大字妻1550番地

電話 0983-42-1113

FAX 0983-42-1076

E-mail info@skmc.jp

西都児湯医療圏域の救急医療に尽力し、高度医療にも対応できる中核病院を目指す。



病院理念

◇地域医療の充実による地域社会への貢献

◇地域医療を担う次代の医療人の育成

◇地域の行政・医療機関・施設との連携推進

理事長あいさつ

令和6年4月1日付、地方独立行政法人西都児湯医療センター理事長に就任しました。

過去には、2015年4月から4年間、当センターの理事長兼院長職を務めておりました。

今回も4年間の任期ですが、院長職も兼務し西都市が掲げている中期目標を達成するために医師確保に努め、一次救急を含む二次救急医療体制の充実に全力で取り組み、中期計画を着実に実行してまいります。

何故、理事長への就任を承諾したのか。それは、「医者が諦めたら、困るのは病気を抱えている患者さん」と思っているからです。微力ではありますが、西都児湯地区の医療体制充実に向けて精一杯頑張りますので、ご支援をよろしくお願いいたします。



概要

平成28年4月1日より、西都児湯医療センターは、西都市を設立者として、県内初の病院事業を行う「地方独立行政法人」となりました。設立者の西都市が目標とする「安定的な救急医療の提供」を実現するため、医療を提供していきます。

西都児湯医療センターは、昭和55年に県内初の24時間対応の救急病院（当時は西都救急病院）として設立され「社団法人西都市西児湯医師会」や「医療法人財団西都児湯医療センター」により運営されてきました。

今後は、「地方独立行政法人西都児湯医療センター」として公的な立場で地域に必要な医療を提供しながら、地域住民から信頼される医療機関になれるよう、診療体制の整備を進めていきます。

南海トラフ大地震などの災害発生時には、被災者対応医療施設として、地域の中心的な機能を果たすべく、DMAT（災害時派遣医療チーム）を中心に防災訓練等へ積極的に参加しています。

さらに、公的医療機関として、患者や家族の皆さんに対するこれまで以上の親切で丁寧な対応と、夜間急病センターの充実及び救急搬送患者の受け入れ態勢の強化に努めます。

病院名	地方独立行政法人西都児湯医療センター
所在地	西都市大字妻1550番地
開設年月日	平成28年4月1日
管理運営	地方独立行政法人西都児湯医療センター
病床数	91床（稼動病床数69床）
診療科	整形外科、呼吸器内科、循環器内科、脳神経外科、リウマチ科、消化器内科、内科、外科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科、泌尿器科、脳神経内科
指定医療等	救急告示病院、地域災害拠点病院、各種医療保険、労働者災害補償保険、生活保護法、精神通院医療小児慢性特定疾病
入院基本料	急性期一般入院料4
基本診療料の施設基準	入院時食事療養（Ⅰ） 重症者等療養環境特別加算 救急医療管理加算1.2 急性期看護補助体制加算 （25対1看護補助者5割未満） 入退院支援加算2 診療録管理体制加算3 医師事務作業補助体制加算1 データ提出加算1 医療安全対策加算2 後発医薬品使用体制加算3 せん妄ハイリスク患者ケア加算 認知症ケア加算3 感染対策向上加算3
特掲診療料の施設基準	夜間休日救急搬送医学管理料 夜間休日救急搬送医学管理料の救急搬送看護補助加算2 検体検査管理加算Ⅱ CT撮影及びMRI撮影（16列以上64列未満） 脳血管疾患等リハビリテーション科Ⅲ 運動器リハビリテーション料Ⅰ 呼吸器リハビリテーションⅠ 医科点数表第2章第10節手術の通則16に掲げる手術 胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術） 医科点数表第2章第10節手術の通則15及び16に掲げる手術 （通手）第23号（1ア）頭蓋内腫瘍摘出術等 （通手）第130号（1ア）経皮的カテーテル心筋焼灼術 （2イ）水頭症手術等 ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 麻酔管理料（Ⅰ） 二次性骨折予防継続管理料1 二次性骨折予防継続管理料3 外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ） 入院ベースアップ評価料63 酸素の購入価格に関する届出 看護職員処遇改善評価料55



職員数

(令和7年4月1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計
医 師	4	38	42
薬剤師	1	3	4
保健師	0	0	0
看護師	38	6	44
准看護師	2	0	2
介護福祉士	3	0	3
看護補助者	0	3	3
診療放射線技師	5	0	5
理学療法士	4	0	4
作業療法士	0	0	0
臨床検査技師	3	0	3
管理栄養士	1	0	1
社会福祉士	2	0	2
保育士、保育補助者	2	3	5
医師事務作業補助者	2	0	2
診療情報管理士	2	0	2
事務職員	13	9	22
(西都市) 事務職員	1	0	1
職員数合計	83	62	145

外来診療

(令和7年4月1日～)

診療科	診療時間	月	火	水	木	金
整形外科	午前	小田	小田	小田	手術	小田
	午後	高木	高木	高木		高木
内科	午前	増田	増田	増田	増田	増田
	入院、検査、処置、急患対応					
総合診療科	午前					
	午後	小田		宮大院 中武		
呼吸器内科	午前	濱野				
	午後		床島 第1火			
脳神経外科	午前					宮崎 大学
	午後					
消化器内科	午前					木戸
	午後					

医療機器

MRI Canon Vantage Titan (1.5 T)



超音波
日立
ARIETTA 750



内視鏡 BLI LCI
富士フィルム

ELUXEO
7000システム

高出力4LED光源で多彩な観察モードを提供、炎症の診断や微小な病変の発見を支援する内視鏡システム。



CT GE Optima CT660 Pro
(64列)



麻酔器
Drager
ファビウスプラス



移動型X線装置
島津製作所
OPESCOPE ACTENO



西都児湯医療センター看護部

生まれ 育ち 生活する地域で
ケアとキュアを支える看護を
大切にしています。

看護部の理念

患者の生命と尊厳を守る看護の実践
～「その人らしく生きる」を看護で支援する～

教育理念

ともに学び、ともに教えながら、ともに育つ

看護部あいさつ

地方独立行政法人西都児湯医療センターは、豊かな自然と日本遺産にも認定された西都原古墳群の近くに立地しています。西都児湯医療圏で地域災害拠点病院に指定されており、地域の中核病院として急性期医療を担っています。

当院は、ナイチンゲールの科学的看護論をもとに看護を行っています。環境を整え、対象者の生命力の消耗が最小となるよう働きかけることを看護と捉え、日々カンファレンスを行いながら看護を提供しています。また、定期的に事例検討会を行い皆で看護を語ることで、看護の質向上につなげています。

地域中核病院の看護職として、地域で暮らす患者さんたちがその人らしく生活できるよう、地域のニーズに応じることのできる看護職の育成を目指しています。

看護部の取り組み

- (1) 独自の目標管理制度と継続教育（クリニカルラダー）の運用
- (2) 新人看護師の育成はプリセプターシップ。さらに安心して看護実践できるようPNS（パートナーシップ）看護方式を導入
- (3) 働き続けられる職場作り
 - ①キャリア・アンカーによるワークライフバランスの導入（短時間正規雇用配置）
 - ②定年退職後の活躍を促進するための再雇用制度（プラチナナースの配置）
- (4) 特定行為・認定看護師の育成支援
- (5) 地域の次世代看護職の人材育成（臨地実習施設、看護学校講師）

看護体制

【看護体制】

入院基本料：急性期一般入院料4（看護配置10対1）

看護方式：プライマリー・ナーシング
PNS（パートナーシップ）看護方式

勤務体型：変則2交代勤務

【看護単位】

外 来：一般外来、救急外来、夜間急病センター・手術室

2階病棟：整形外科、総合診療科

3階病棟：内科、総合診療科



病棟 (hospital ward)



手術室 (Operating Room)



外来 (Ambulatory)



病棟 (hospital ward)

将来、看護師を目指すあなたへ！ 当センターがバックアップします！



【看護師奨学生募集】

〈貸与額〉 40,000円 / 月

西都児湯医療センターでは、下記対象者に対して奨学金貸与制度があります。

※学年途中からでも応募可能であり、返還免除制度があります

〈貸与対象者〉 看護大学や看護師養成施設に在学する学生で、看護師の資格取得後、当センターでの就業を希望する方になります。ただし、類似の奨学金（看護師等として特定の病院等に勤務することを条件とした奨学金）をすでに受給している者又はこれから受給しようとする者は応募できません。

認定・特定行為看護師

私は、当センターの専門・認定等看護師育成奨学金貸与制度を利用して、令和3年度愛知県看護協会の摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程と、特定行為研修を修了しました。自施設へ戻ってからは、認定看護師と特定看護師の役割の院内周知を行い、特定行為に関しては、脱水症状に対する輸液による補正の実践を行っています。また、認定活動に関しては、嚥下評価を行い、適切な食事内容、訓練方法の選定を行い、誤嚥性肺炎、窒息、脱水予防や改善をはかる活動を行っています。

当センターは、認定看護師や特定看護師の資格取得に理解のある病院なので、将来、スキルアップを考えている方は、是非、入職を考えてみてはどうでしょうか。



摂食嚥下障害看護認定看護師

現在の飲み込む能力を評価し、適切な食事内容、訓練方法を選定し、誤嚥性肺炎、窒息、低栄養、脱水予防や改善を行います。口から食べることは栄養を取り入れるだけではなく、楽しみや喜びでもあります。少しでも、食べる力の低下した患者さん、その家族の力になれるように関わっていきます。

特定看護師

特定行為研修で学んだ、フィジカルアセスメント、臨床推論力を駆使しながら、患者さんの状態変化の早期発見に努め、タイムリーな特定行為実践（脱水症状に対する輸液による補正）を行います。また、複雑化した医療現場において、チーム医療を円滑に行う潤滑油のような役割を担っていきます。

地域医療連携室

西都児湯医療センターは、平成28年4月に地方独立行政法人へ運営形態を移行したことに伴い、新たに「地域医療連携室」を病院内に設置し活動しています。

当センターの「地域医療連携室」では、主に患者さまが円滑に受診や入院または退院や転院ができるよう、医療機関、介護施設をはじめ、行政や医療福祉に関わる多くの関係機関などと細かい連携がとれるよう努めております。

また、病気などに伴って生じる療養、生活上で困ったことなどの相談窓口としての役割を担っています。

社会福祉士（MSW：メディカルソーシャルワーカー）2人体制で、周辺の医療機関からのご紹介や、退院及び転院時の調整等を行っています。

当センターは、整形外科や呼吸器内科の専門病院として地域医療に貢献できるよう関係機関との連携を強化し、より質の高い医療の提供に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



	2024年度実績
紹介率	22.2 %
逆紹介率	69.0 %
	2024年度実績
退院支援相談件数	291 件
医療相談件数	613 件

外来患者数

2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一般外来	933	889	927	1025	871	897	927	879	884	831	574	796	10,433
夜間急病センター	121	127	145	178	161	120	123	110	174	166	78	102	1,605
計	1,0544	1,016	1,072	1,203	1,032	1,017	1,050	989	1,058	997	652	898	12,038

救急車搬送件数

2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
西都市	36	27	33	45	55	28	32	26	28	33	31	27	401
東児湯	13	13	18	24	20	11	10	11	13	14	10	9	166
宮崎市等	0	0	0	3	3	1	1	3	5	2	0	1	19
計	49	40	51	72	78	40	43	40	46	49	41	37	586

夜間急病センター

地方独立行政法人西都児湯医療センターでは、西都児湯医療圏で唯一夜間急病センターを併設しています。



診療科目は内科・外科を標榜し、急患及び西都児湯地区の救急搬送患者の受入れ等行っています。診療は365日、当直は常勤医師が6回程度行い、宮崎大学医学部や西都市西児湯医師会からの派遣を受けて診療にあたっています。

診療科	診療時間
内科	午後18時～22時
外科	午後18時～22時

【スタッフ構成】
医師2名、看護師2名、受付事務職員2名
診療放射線技師：1名（22時以降オンコール待機）
臨床検査技師：オンコール待機
※血液検査（生化学、末梢血、血液ガス分析の測定可能）

入院診療

【許可病床数】91床（稼働病床数：69床）
2階病棟 33床 整形外科、脳神経外科
個室 2室（ユニットバス完備）
重症者等療養環境特別加算室 個室3室
3階病棟 36床 呼吸器内科、循環器内科
個室 4室（2室：ユニットバス完備）

入院患者数

2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2階病棟	33	24	23	31	31	20	20	26	29	27	28	17	310
3階病棟	43	40	36	44	42	32	32	26	33	41	26	24	418
計	76	64	59	75	73	52	52	52	62	68	54	41	728

電子カルテ、オーダーリングシステム

※令和5年10月更新



手術件数（手術室実施件数）

2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
整形外科	17	16	8	10	10	15	8	15	11	11	11	7	139

新興感染症患者発生時の受入れ医療機関

令和5年10月まで、新型コロナウイルス感染症患者等受入重点医療機関に指定されていたため、新型コロナ陽性者の入院を西都市内で唯一受け入れていました。令和5年度、新型コロナウイルス感染症が5類へ変更されましたが、地域の公的医療機関として現在も入院が必要な感染症患者を受け入れています。

当センターは、新型インフルエンザ等感染症の新興感染症が発生した場合に備え、新型インフルエンザ等感染症、指定感染症又は新興感染症に係る医療を提供する体制の確保に必要な措置に関する協定に基づき、宮崎県より第一種及び第二種協定指定医療機関に指定されています。

そのため、令和6年2月新興感染症等が発生した場合に備え、高鍋保健所や西都市消防本部及び周辺医療機関等と、新興感染症患者発生時の受入れに関する合同訓練を行い、連携体制強化に努めています。

また、当センターでは宮崎県災害・感染症支援ナース派遣についても協定を結んでおり、新興感染症等発生時には支援ができる体制構築に努めています。



■ 新興感染症等
受入訓練2025

地域災害拠点病院

宮崎県より、西都児湯医療圏の地域災害拠点病院に指定されています。災害時に被災地域からの傷病者受入れ等の支援が行えるよう体制整備に努めています。

センター内の職員で構成した災害派遣医療チーム（DMAT）を1隊保有し、平成28年4月の熊本地震や令和2年7月の新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした被災地域や関連施設へ隊員を派遣しました。

また、宮崎県や西都市などで開催される防災訓練等へ積極的に参加し、地域の医療機関や行政機関との連携強化に努めています。

近い将来発生する南海トラフ大地震に備えて、インフラの整備や災害時の食料や飲料水等の備蓄も計画的に確保しています。

■ 西都市総合防災訓練



■ 大規模地震時
医療活動訓練



■ 高規格救急車
令和6年導入



地域環境

西都市

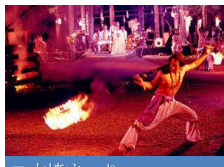
宮崎県のほぼ中央に位置し、宮崎市の北西部に隣接しています。

西都原古墳群やツ瀬川を初め多くの清流があり年間約100万人の観光客が訪れる県内でも有数の観光地です。

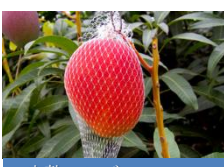
また、野球やサッカーをはじめとした多くのプロ・アマチュアチームのスポーツキャンプ地としても知られています。



■ 西都原のひまわり



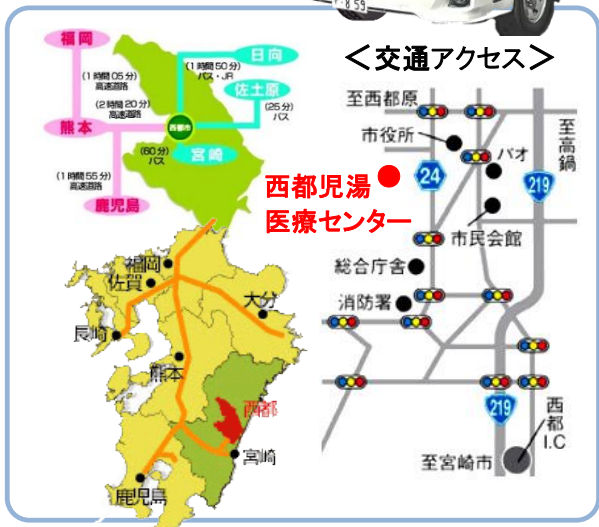
■ 古墳まつり



■ 完熟マンゴー



■ カラーピーマン



あなたを、ひなたへ。

